

新しい環境から 新しい研究のスタイルへ

国立教育政策研究所研究指定【校種間連携】(2年次)

京都市教育委員会 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた実践研究指定(幼)

楊梅幼稚園・下京雅小学校 教育研究発表会

育てたい資質・能力の育成を目指した カリキュラム・マネジメント

～「探究・ふれあい・誇り」を視点として学びをつなぐ～

日時

令和2年 11 月 27 日(金) 14:00～17:00 (受付13:30より)

第 1 部

会場
下京雅小学校

14:00～14:40

楊梅幼稚園・下京雅小学校 保育・授業公開 ※参観は密集をさけた形態で行う予定です。

幼小接続部会:5歳児すみれ組+1年2組 体育科「マットあそび」

夢中熱中部会:2年2組 生活科「あそんで ためして くふうして」

フェス部会:6年1組 総合的な学習の時間・みやび学習「下京雅小学校誕生物語」

第 2 部

会場
下京雅小学校

15:00～17:00

会場分散型全体会 ～研究概要、YMOプロジェクト、指導講評など(ライブ放送による発信)～

指導講評 西 孝一郎先生〈京都光華女子大学 准教授〉

古賀 松香先生〈京都教育大学 准教授〉

楊

楊梅幼稚園 京都市下京区醒ヶ井通松原下る篠屋町59

TEL 075-351-0937 FAX 075-351-0937

下京雅小学校 京都市下京区醒ヶ井通松原下る篠屋町59

TEL 075-353-0008 FAX 075-351-0011



令和2年度より新校舎となり、楊梅幼稚園と下京雅小学校は同敷地内で教育活動を進めています。それに伴い、研究組織を幼小一体化し、YMOプロジェクトとして始動しました。その成果の一端をお示すべく、教育研究発表会を開催いたします。校務ご多用のこととは存じますが、ご来校いただき、ご指導賜りますようお願い申し上げます。今年度につきましては、京都市内の教育関係者のご案内とさせていただきます。ご了承ください。

YMOとは、Yobai-Miyabi-Organizationの頭文字をとったものです。楊梅幼稚園と下京雅小学校の両校園で、幼小9年間を見通した育てたい資質・能力に「探究・ふれあい・誇り」を位置づけ、その資質・能力を育成するためYMOプロジェクトを立ち上げました。YMOは6つの部会で構成されています。研究3部会には<夢中熱中> <フェスティバル> <幼小接続>、学び3部会には<学習規律> <学力保障> <学習支援>があります。研究3部会には楊梅幼稚園と下京雅小学校の両校園の教員が部員となり、授業研究等に取り組み、実践を積み重ねています。

YMO**研究**3部会 夢中熱中・フェスティバル・幼小接続

夢中熱中

「やってみたい！」から育つ力

夢中熱中部会キャプテン 上田 亮介

《部会仮説》学びに向かう力を高める授業を構築することで、「探究する子ども」「ふれあいを大切にする子ども」「誇りをもてる子ども」につながり、よりよい人間性を育むことができるだろう。

フェス

「新しい環境」から「新しいフェス」へ

フェス部会プロデューサー 中川 清博

《部会仮説》学習過程の中にフェスティバルを位置付けることで、目的意識をもって学習に取り組むことができるようになり、学校教育目標の達成に近づくことができるだろう。

幼小接続

「幼小のふれあい」を通して育む心

幼小接続部会コンダクター 川崎 哲兵

《部会仮説》幼小のふれあいを通して、【探究】相手のことを考えて行動したり、【ふれあい】身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かたり、【誇り】大きな達成感や成就感を味わい、自分自身の成長を見直したりする子どもを育てることができるだろう。

YMO**学び**3部会 学習規律・学力保障・学習支援

学習規律

「生徒指導の三機能」の視点を生かして

学習規律部キャプテン 中川 由紀子

《部会仮説》生徒指導の三機能を日々の授業に生かすことで、自己決定力【探究】・人間関係力【ふれあい】・自己存在感【誇り】が高まり、学校教育目標の目指す子ども像にせまることができるだろう。

学力保障

自ら未来を切り拓くことのできる「学力」

学力保障部コンダクター 谷本 彩子

《部会仮説》基礎学力が定着し、学習方法が分かり、学びに楽しさを見出すことができれば、自ら未来を切り拓くことのできる「学力」を身に付けることができるだろう。

学習支援

困りに寄り添った「安心」を育む支援

学習支援部プロデューサー 柴田 舞

《部会仮説》困りを抱える児童への支援方法を工夫することで、全ての児童が安心して、主体的に学習活動に取り組むことができるようになるだろう。